



茶内小だより

○思いやりのある子 ○自ら鍛える子 ○進んで学ぶ子

茶内地区サポーター募集

皆さんの得意をいかして、学校にちょっと力を貸してください。スポーツ競技も可能です。登録希望の方は、65-2252 教頭までご連絡ください。

1月の行事予定

日	曜	学校行事・PTA行事など
1	月	学校閉庁日
2	火	学校閉庁日
3	水	学校閉庁日
4	木	学校閉庁日
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	成人の日
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	冬季休業最終日
16	火	始業式 4時間授業(給食あり) バス乗車指導
17	水	スケート学習 避難訓練
18	木	二計測・体育公開授業
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	スケート学習
24	水	朝の読み聞かせ
25	木	知能検査(3・5年) 縦割り班清掃
26	金	漢字検定
27	土	
28	日	
29	月	スケート学習
30	火	湿原学習(4年)
31	水	朝の読み聞かせ スケート学習

令和5年を振り返る

校長 佐久間 勝教

令和5年度「社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難な時代」とさまざまなところで言われていますが、学校でもこれまでの固定概念にとらわれた学び方では、これらの変化に対応できない状況が多くみられるようになりました。

例えば「ノート」が挙げられます。私自身も、子どもの頃は先生が黒板に書いた文字を、その通りノートに写し、大事なことを覚えていました。その頃はこの学び方が基本だったのではないかと思います。では今は？ GIGAスクール構想のもとICT機器が導入され、自分の考えをパソコンアプリのロイロノートなどにまとめ、クラウド上に発信し、それらを互いに見ながら友達と話し合いを深め、結論を導く学びを進めています。この学習スタイルが、今学校では多くなってきています。この学習スタイルでは、ノートの活用場面が少なくなります。これらを踏まえ、「ノートの役割は何か」「ノートをどのように活用していくのか」について、今後議論を深めていかねばなりません。

このことを一例に、これまで培ってきた指導法や指導内容など、これまで指導上常識としていたことにも、その意義について再度分析し、「子どもが主語」となる授業スタイルの創造に向けて、教職員と共に考えていかねばなりません。

また、北海道教育委員会から「全国学力調査報告書」が出され、その中で次のように分析結果が述べられています。

国語・算数など各教科の平均正答率と児童質問紙調査についてクロス分析したところ「家で自分で計画を立てて勉強している」「先生は自分の良いところを認めてくれている」との設問に肯定的に回答した児童生徒ほど平均正答率が高く、さらに最も肯定的な回答をしている層は全教科の平均正答率を上回った。また、授業で主体的・対話的な学習に積極的に取り組んでいた児童生徒、「自分に合った考え方・教材・学習時間だった」と回答した児童生徒にも同様の傾向が見られた。

このことから、子どもたちの学びのスタイルの変更と子どもたちの自己肯定感を高めることの大切さが読み解けるかと思えます。

これまでに学校では「子どもを主語にした授業づくり」に重点を置き、子どもたちの充実した学びに向けて授業改善に取り組み、新学習指導要領の着実な実施を大切に、子どもたちの資質・能力を確実に育成することに日々取り組んできました。

もう一方の、自己肯定感についてですが、自己肯定感とは、ありのままの自分を肯定する、好意的に受け止めることができる感覚で、子どもたちの内面に関する事項です。そのため、客観的に評価することは難しい項目になりますが、自己肯定感を高めるための取り組みについては十分だったのか、学校でも今後検証していきたいと思えます。まずは、基本に立ち返り、各先生が「先生は自分の良いところを認めてくれている」という質問を意識しながら、子どもたちと向き合っていきたいと思えます。

さて、令和6年を迎えるにあたり、「社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難な時代」を意識しながら、残された3学期、これまでの学習のまとめをすることはもちろん、上記のことを踏まえながらこれからの時代を担う子どもたちの育成に向け、できることを日々実践することを大切に、邁進していきたいと思えます。

参観ありがとうございました

2学期最後の参観日でした。授業参観の後に、各学級懇談を行いました。児童のこれまでの成長や冬休みの生活についてお伝えしました。ご家庭のサポートがあったことで、子ども一人一人の成長が見られました。ありがとうございました。3学期はあっという間ですが、次の学年への最終段階です。引き続き御理解と御協力をお願いいたします。



保健体育委員会(体力向上・隣接学年交流)

保健体育委員会では、交流と体力向上企画として、「けいどろ」と「ドッチボール」を計画・実施しました。説明や審判などの役割も委員会で行い、スムーズに運営することができました。



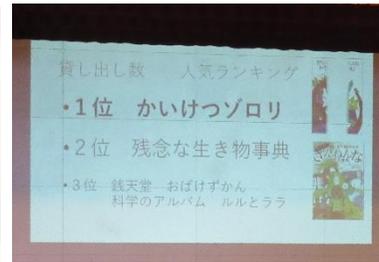
生活習慣学習講座(5年)

浜中診療所の加藤先生を講師に迎え、生活習慣に関するお話をいただきました。また、身近にあるもの(今回はボール)を使って足の裏をほぐすことによる血行改善などを体験しました。



みんなの広場(図書委員会)

図書委員会による、本の貸し出しランキングの発表がありました。学年ごとに人気のジャンルに変化があり、発表を聞いていた児童も納得の表情でした。これからも、新刊図書の紹介や委員会の活動で読書活動を進めていきます。



とび箱チャレンジ

跳び箱運動に取り組む時間を休み時間に作りしました。当番で教員が指導及び安全を確保して行いました。助走や両足での踏みきり、手のつき方等を確認しながら何度もチャレンジしていました。



歯科教室

安住養護教諭による歯科教室が学年ごとに行われました。発達段階に応じた課題を設定し、体験する活動も交えて学ぶことができました。「歯のみがき方」「歯の健康チェック」「歯肉炎などの予防法」などを各学年真剣に学び、これからの生活に役立てようと考えていた児童の皆さんでした。健康な歯で大人になっても食事を楽しめるようになることでしょう。



【お願い・お知らせ】

- 先日、学校評価アンケートへの御協力の依頼を学校の関心安全メールで行いました。12月25日までとなっておりますのでよろしくお願いいたします。
- 学校閉庁日についてですが、12月29日から1月4日まで学校閉庁となります。この間は、学校職員が不在となります。緊急連絡先は、浜中町教育委員会(浜中町役場)となっております。浜中町役場62-2111(代表)へ連絡願います。
- 3学期が始まってすぐに、スケートの学習が行われます。サイズの確認や、履き方や片付け用のタオルの準備等をお願いします。